暑さに強い米の新品種

ひなた舞

ひなたまい



名前の由来

○　舞い上がるほどのおいしさや
　　米粒が立って舞っている様子

○　音の響きが良く、米（まい）と舞（まい）
　　をかけられる

○　神楽が連想され、宮崎らしい

をイメージし命名



国が品種登録出願を受理（令和８年１月）

開発ストーリー

夏の暑さに
負けないお米を

総合農業試験場が平成元年に開発し、
宮崎県の主力となった「ヒノヒカリ」の品質が、
地球温暖化の影響で不安定化していました。

そこで**14年！**研究員が試行錯誤を重ね、
生産現場の評価をいただきながら生まれたお米が
「ひなた舞」です。



総合農業試験場作物部のメンバー



地球温暖化による品質低下



14年の研究期間



「ひなた舞」誕生